

あと1か月で令和4年度が終了します。

あっという間に1月・2月が終わってしまいました。寒さは相変わらずですが、少しずつ日没の時間も長くなって、春の訪れを感じられる日々となっています。

春は別れと出会いの季節でもあります。このような時に、どんな夢を皆さんは持っていますか。次の作品は小学生の頃からの自分の夢を追い求めている、岡山県の女子高校生の作文です。

私には夢がある。それは幼いころからずっと憧れつづけた場所、甲子園だ。小学校一年生の頃に兄の影響で野球を始めたが、転校をきっかけに小学校三年生で野球をやめた。転校先の小学校で野球をしないかと誘われたが、女子が私一人だけしかないという不安や、父が単身赴任で、母が私に付きっ切りになってしまう等の理由から、断らざるを得なかった。それでも野球が好きだった私は、初めて甲子園を見に行っただけで、テレビで何度も観戦したことはあったが、テレビでは味わったことがない甲子園だったのを今でも覚えている。会場全体が一つになった空気感、直接聞こえてくる吹奏楽の楽器の音色、スタンドやベンチからの声援、高校球児の喜びの声、悲しみの声などを体中で感じた。「かっこいい」「私もあの場所で野球をしたい」と、いつしかそこは私にとって夢の舞台となっていた。

しかし、私はあくまでも女であり、その夢の舞台に立つことは許されなかった。中学校でソフトボール部に入るも、十分に練習ができないことを物足りなく感じ、野球部に転部した。もちろん男子の中で野球をするということは簡単なことではない。学年が上がるにつれ、力の差が開いていき、精神的、体力的にもとても大変だった。それでも、最後まで続けたということは私の強みとなった。

進路を選ぶ年になり、私は野球部のマネージャーになるか、女子硬式野球部がある学校でプレーヤーになるか悩んでいた。しかし、「全国高等学校女子硬式野球選抜大会」の決勝戦を甲子園で行うと知り、プレーヤーになることに決めた。

今、私は日々練習に励んでいる。新型コロナウイルスの影響により、元の生活に戻ることは難しいかもしれない。一日でも早く戻り、甲子園球場が人でいっぱいになることを願い、これからも頑張っていこうと思う。

(植木春美 岡山学芸館高校 第6回PHP作文甲子園優秀賞受賞作品)

『夢を掴むことというのは一気には出来ません。

小さなことを積み重ねることです。いつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます。』イチロー選手の言葉です。コツコツと夢を実現していこう。

3月の行事予定

1日(水)	公立一次選抜予備日 スクールカウンセラー来校	9日(木)	公立一次選抜発表 ALT来校
2日(木)	生徒専門委員会	17日(金)	大掃除
3日(金)	ALT来校		公立二次選抜
6日(月)	公立一次選抜追検査		ALT来校
8日(水)	卒業証書授与式	20日(月)	公立二次選抜発表
		24日(金)	修了式 離任式